

令和6年度 都市景観大賞

「都市空間部門」

応募要領

主催：「都市景観の日」実行委員会

後援：国土交通省

事務局：公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽 2-2-2 アベニュー音羽 206

TEL 03-6912-0799

URL <https://www.udc.or.jp> E-mail toshikeikan@udc.or.jp

目 次

1. 目的	1
2. 対象地区の要件	1
3. 応募時期	2
4. 応募者の資格	2
5. 表彰地区数	2
6. 審査及び表彰（予定）	2
7. 審査委員	3
8. 応募方法及び応募先（応募図書提出先）	4
9. 提出図書等	5
10. 応募に当たっての留意事項	6
11. その他	6
12. お問い合わせ先	6
添付資料	
応募図書記入要領	7

1. 目的

都市の景観は国民共有の誇りうる財産として、美しく風格のあるものであり、また、地域固有の歴史や風土が尊重され、そこで生活し活動する人々にとって、親しみと敬意の対象とならなければなりません。

「都市景観の日」実行委員会は、良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい、工夫をこらした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として1991年より都市景観大賞を実施しています。

都市景観大賞は良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 対象地区の要件

本賞は、『街路・公園・水辺・緑地等のパブリックスペースと建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。』単独の「公共施設・民間建築物（付属公開空地等を含む場合も同じ）・構造物（付属公開空地等を含む場合も同じ）」は対象になりません。

※パブリックスペース：街路、広場、公園・緑地、駅舎・駅前広場、河川・水路、湖沼、海岸等の不特定多数の人が自由に出入りできる空間

※地区の規模、実施した施策・事業の種類や主体等は限定しません。

※空間の十分な活用とは、持続性をもって適切に維持・管理がなされているとともに、多くの市民がその場に親しみ、日常的によく利用していること。

注) ここ数年、「単独の公共施設」や「単独の民間建築物」あるいは「単独の民間建築物とその付属公開空地」を対象地区として応募を頂いた例がありますが、これらは、上記の地区要件を満たしませんのでご留意願います。なお、詳細は、事務局にお問合せください。

対象地区の要件は上記の通りで、これ以上限定するものではありませんが、今後の取り組みの参考のために例示すれば、例えば以下のようなものが挙げられます。

〈対象地区の例示〉

○優れた都市景観を備え、都市のシンボルともなる賑わい地区

駅前・メインストリート・中心商店街・商業施設・文化施設等を中心とする地区で、公共空間のデザインや節度ある広告・看板・照明デザイン等で良好な景観を形成し、いつも人が集まって賑わいを形成している地区等。

○優れた都市景観を備え、コミュニティの中で日常的に居心地の良い地区

家並みの統一や、緑・水等のうるおいにより、季節の変化や自らの暮らしを楽しめて、そこに居るだけで心地よさを感じる地区。市民の居場所空間。路地等を中心とするコミュニティ空間等。

○歴史・伝統文化の香り漂う地区

歴史的風致・自然条件・地場産材等を活かした空間や歴史的まちなみや文化的景観。古い民家やまちなみを活かした新しい生活様式を創生し、日常生活の中で洗練された生活文化（美学）が息づいている地区等。

3. 応募時期

応募時期は、対象地区の都市景観が概ね構成され、訴求する（期待される）価値が明確となった時点とします。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください（別紙様式6による行政の確認書を添付のこと）。

5. 表彰地区数

- ① 大賞（国土交通大臣賞） 1地区
- ② 優秀賞 数地区

特別賞を適宜選定し、その位置づけは、審査委員会で決定することとします。

6. 審査及び表彰（予定）

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング※）した上で、表彰地区を選定します。

国土交通省大臣賞の表彰については、10月※に東京で開催する予定です。

※審査委員による現地視察・ヒアリングは、書類選考（第1次審査）で選定した団体についてのみ実施します。

※国土交通省大臣賞の表彰を「6月」開催としておりましたが、正しくは「10月」に開催予定です。訂正してお詫び申し上げます。（2024年2月22日）

■審査に当たっての評価ポイント

- 景観形成や空間活用の新規性、独創性、模範性を評価します。
- 景観形成過程における課題解決の難易度・工夫を評価します。
- 景観形成・維持管理・活用面における市民参加（市民の関わり度）を評価します。
- 長期間にわたる活発な取り組み、多種多様な取り組みを評価します。
- 豊かな空間を将来にわたって維持管理するエリアマネジメント等の取り組みを評価します。
- 景観形成と空間活用の効果を評価します。
 - ・ 地域アイデンティティの高まり。市民が誇りを感じている。地元愛着意識の高まり。定住志向の高まり等。
 - ・ 賑わいの増加（歩行者交通量等の増加）、交流人口の増加。
 - ・ 景観に対する高い意識を持って質の高い生活が営まれている。生活文化創造・再生システムが確立している。

7. 審査委員

委員長	陣内 秀信	法政大学 特任教授、中央区立郷土資料館館長
委員	池邊このみ	千葉大学 グランドフェロー
	卯月 盛夫	早稲田大学 教授
	岸井 隆幸	(公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、 (一財)計量計画研究所代表理事
	佐々木 葉	早稲田大学 教授
	高見 公雄	法政大学 教授
	田中 一雄	株式会社 GK デザイン機構代表取締役
	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
国土交通省	都市局	公園緑地・景観課長
国土交通省	都市局	市街地整備課長
国土交通省	住宅局	市街地建築課長

(順不同、敬称略：2023年11月現在)

8. 応募方法及び応募先（応募図書提出先）

応募に必要な書類は、「エントリーシート」および「提出図書（データ）」（次頁「9. 提出図書等」を参照）の2種類となります。

◆エントリーについて

「エントリーシート」は応募内容の確認のために使用し、それ以外の目的には使用いたしません。応募に先立ち、必ずご提出ください（必須）。エントリー後に応募を取りやめる事は可能です。

エントリー期間：2023年11月1日（水）～2024年1月22日（月）

提出方法：メールでご提出ください。

提出先メール：toshikeikan@udc.or.jp

※「エントリーシート」は、下記ホームページ上に掲載しています。ダウンロードの上、ご記入いただき、ご提出ください。<https://www.udc.or.jp> 中の「都市景観大賞」のページ

◆提出図書について

応募しようとする方は、次頁「9. 提出図書等」に記載する図書を、下記提出先までご送付ください。

応募期間：2023年11月1日（水）～2024年2月22日（木）（消印有効）

提出方法：図書の電子データをCD-ROMに収録し、郵送または宅急便等にて提出してください。

提出先住所：〒112-0013 東京都文京区音羽 2-2-2 アベニュー音羽 206
公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内
「都市景観の日」実行委員会事務局
TEL：03-6912-0799

9. 提出図書等

応募にあたっては、以下の図書の電子データをCD-ROMに収録し、提出してください。様式1から様式5（必要な場合は様式6も）は、様式ごとにデータを分けず、ひとつのデータにしてください。

1	様式1	応募申請書・応募担当者連絡先
	様式2	地区概要及び取り組みに関する調書
	様式3	写真説明書
	様式4	要点説明書
	様式5	位置図・区域図
2		様式3で使用した各写真の電子データ
3	補足資料	パンフレット等のPDF（※必要と判断されるものを厳選）
4	様式6	※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、別紙様式6による行政（景観担当部局長）の確認書を添付してください。確認者の認め印が押印されたものの複写（scanしたもの）でも構いません。

※提出にあたっては、次項「■提出に当たっての留意事項」を必ずお読みください。

※様式1～様式6については、下記のホームページ上に掲載してありますので、ダウンロードして、ご活用ください。

<https://www.udc.or.jp> 中の「都市景観大賞」のページ

■提出に当たっての留意事項

- ① 提出図書は全て電子データにしてください。ワード、PDF いずれでも構いません。
- ② 写真の電子データは、入賞された場合、活動を紹介するパンフレットとして、またパネル展示用に引き延ばして利用しますので、様式3に貼り付けたものとは別途、高解像度（写真一枚当たり500KB以上）のものをバラで用意してください。データ形式は、JPEG、BMP、TIFF形式としてください。ファイル名は、団体名と番号（様式3で用いた番号と一致するもの）で、下記表示例のようにしてください。

ファイル名の表示例：△△地区01、△△地区02、・・・

（地区名が長い場合は略称でも構いません。番号は半角数字で01、02、03・・・12としてください）

- ③ 様式3の写真について、活動を紹介するパンフレット等への掲載時に、クレジットの明記が必須となるものは使用しないでください。
- ④ 補足資料の提出は必須ではありません。必要に応じて、対象地区の案内や、地区の事業・活動等を紹介したパンフレット等の資料を、補足資料としてつけてください。

提出される場合は、応募地区の取り組み内容・成果等について理解を深めるために必要

と判断されるものを厳選してください。（※A4 用紙、20 枚程度に納めてください。）
対象地区の整備効果が一目で分かるような、現在の姿と整備前の姿を対比できるような
写真等があれば、補足資料としてつけてください。

パンフレット等の印刷物の場合は、スキャンし、PDF 形式等に変換されたものを提出
してください。原本の提出は受け付けていません。

10. 応募に当たっての留意事項

【過年度受賞地区との関係】

- ・過年度に都市景観大賞（都市景観 100 選、景観形成事例部門、美しいまちなみ賞）に応募した地区（受賞地区を含む）についても、その後、まちづくり組織等によるまちなみの維持・保全等の活動が行われている場合は、応募対象となります。
- ・ただし、平成 13～22 年度において「美しいまちなみ大賞」（国土交通大臣賞）を受賞した地区については、受賞対象外となります。
- ・また都市景観 100 選に選ばれた地区については、受賞当時の内容に比較してなお一層の充実が図られていることが審査のポイントとなりますので、その後向上した点について以下のような視点から具体的に明示してください。
 - ① まちなみの美しさが加わり、より魅力的になった。
 - ② まちなみの美しさを増進、維持するために住民や団体等の活動がより活発になった。
 - ③ 様々な活動の結果、住民の日常生活がより充実し、魅力的な生活文化が展開されるようになった。

11. その他

- ・受賞の有無に拘らず、全応募地区に対して、審査結果を実行委員会より連絡致します。
- ・「都市景観の日」実行委員会及び公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンターは、応募事例を第三者に紹介（有料もしくは無料）するにあたり、図書の出版、又はビデオテープその他の媒体に応募図書を無償で使用する権利を有します。

12. お問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば下記事務局までご連絡、ご相談ください。

公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内

「都市景観の日」実行委員会事務局 都市景観大賞担当 古木・樋口

TEL：03-6912-0799

URL：<https://www.udc.or.jp>

E-mail：toshikeikan@udc.or.jp

応募図書記入要領

1. 都市景観大賞「都市空間部門」応募申請書（様式1-1）

1) 代表者氏名

・応募者(団体)全てについて、組織名、代表者名、住所を記入してください。

2) 地区名

・地区名は、当該応募地区を最もよくあらわす名称としてください。

3) 地区所在地

・応募地区の所在地(都道府県名及び市区町村名まで)を記入してください。

2. 応募担当者連絡先（様式1-2）

1) 担当者氏名

・実際に応募の事務を執る方の氏名を記入してください。

2) 担当者連絡先

・担当者の住所、電話番号、E-mail アドレスを記入してください。

※応募の事務を執る方のうち、電話・電子メール等による連絡が常時可能な方で、事務局及び応募者の方々との連絡・調整役に相応しい方を担当者代表としてご登録ください。

3. 地区概要調書（様式2-1）

1) 地区の概要

① 地区の名称

・様式1-1に記載された地区名と同じものを記入してください。

② 地区の範囲

・応募地区が含まれる場所の丁目まで記入してください。

③ 地区の面積・構成内容

・応募地区の概ねのヘクタール数を記入してください。

(小数点1桁まで。なおそれが不可能な場合は整数表示でも可。)

・構成内容として、応募対象となるパブリックスペースとそれと一体となる建物等を記載してください。例)・街路及びその周辺の建物等の街並み

・広場及びその周辺空間、建築物及びその周辺の公共空間 等

(なお、単独の「公共施設・民間建築物(付属公開空地等を含む場合も同じ)・構造物(付属公開空地等を含む場合も同じ)」は対象になりませんので、ご注意ください)

2) 応募者の概要

- ・ 応募者各々について、①組織名、②地区の景観形成・保全において担った役割・活動の内容を簡潔に記入してください。
- ・ 応募者がまちづくり組織の場合には、①組織名、②組織の構成メンバー、③組織の設立時期、設立の目的・主旨、また過去・現在で地区の景観形成・保全において担った役割・活動(業務)の内容を簡潔に記入してください。

4. 景観形成・保全の取り組みに関する調書 (様式2-2)

1) 地区の概況と課題

地区の位置や状況等地区の概況や課題について、簡潔に記入してください。

2) 地区における都市景観の形成・保全に関する取り組みの経緯

地区の都市景観の形成・保全のために、これまでに行政や民間でどのような取り組み(ハード面、ソフト面)がなされてきたのかを、できるだけ詳細に時系列的に記述してください。取り組みの主体(事業の実施主体、ルール策定者、イベント主催者等)が誰であったのか、明確に記述してください。

なお、景観法に基づく制度活用又はその予定がありましたら積極的に記述してください。

3) 地区の都市景観上のポイント

記入にあたっては、地区の都市景観上のポイントをアピールするように記入してください。また、以下の点がわかるように簡潔に記載してください。

- ・ どのような点で、良好な都市景観の形成、保全となっているか
(当地区の都市景観形成・保全のポイント)
- ・ 当地区の景観形成・保全における、新規性(オリジナリティ、新しさ)、工夫した点、苦労した点は何か
- ・ どのような点で、公共空間と民有空間とが一体となった都市空間となっているか
- ・ どのような点で、市民による積極的な活用がなされているか
- ・ どのような点で、地域の活性化等にも貢献しているか、等。

また、文中には関連する写真番号(様式3)を記入して、景観上のポイントと写真との関係がわかるようにしてください。

なお、景観法に基づく制度活用がありましたら積極的に記述してください。

4) 景観形成・保全の取り組みの成果

景観形成・保全取り組みの成果について記入してください。その際、直接的な成果物だけでなく、住民等の意識にどのような効果があったか、成果が地域社会にどのような波及効果を与えたか、等がわかるように記載してください。

5) 今後の展開

今後の活動計画や新たな取り組みへの展開等、現在計画しているもの、想定しているものを記入してください。

5. 写真説明書 (様式3)

- ・写真説明書には、各々の写真の下に番号と各写真の簡潔な説明文(20～30字程度)を付けてください。撮影時期(年月)がわかる場合には、記載ください。
 - ・写真の選定に当たっては、次の点に留意してください。
 - ア(必須). 番号1～4に貼り込む写真は大きなサイズに相応しいもの(地区の代表的景観等)をお選びください。うち番号1の写真(一枚目)は、地区の全景が分かるようなものにしてください。
 - イ(必須). 対象となる都市空間が住民や来街者等にどのように活用・管理されているか、その様子が分かるようなものにしてください。
 - ウ(随意). 四季の写真(いずれの季節でも可)があれば入れてください。
 - エ(随意). 照明デザインや夜景の写真があれば入れてください。
 - オ(随意). サイン設備等の設置状況が分かるようなヒューマンスケールの写真を盛り込んでください。
- ※写真枚数の制限はございません。必要に応じて頁を追加してください。
- ※地区を紹介するパンフレット等への掲載時に、クレジットの明記が必須となる写真は使用しないでください。

6. 要点説明書 (様式4)

- 「①地区の概要」と「②アピールする点」について、簡潔にまとめてください。
- また、受賞した際に、その地区の取り組みの内容を発表するために用いますので、「①地区の概要」については、地区の概況、課題、取り組み内容等、アピールする点を 500字以内で簡潔に記入してください。

7. 位置図 (様式5) A4判・・・おおよそ縮尺1/1万～1/5万程度

- ・市町村管内図等を用いて、当該地区の位置を明示するとともに、地区周辺の主要な施設等(駅、主要幹線道路、河川、山等)を示してください。
- ・なお、位置図の大きさは適宜縮小し、A4判にて提出してください。
- ・方位、縮尺(スケールバー等)を付してください。

8. 区域図（様式5） A4判・・・おおよそ縮尺1／2,500～1／1万程度

- ・区域内及び周辺の建築物の形態等がわかる図面をもとに、応募地区の区域を線（赤色）で縁どりして示すとともに、地区内の主要な公共施設（道路、公園等）や建築物等（歴史的建造物、公益施設等）の位置、名前を適宜示してください。なお、区域図の大きさは適宜縮小し、A4判にて提出してください。
- ・また、当該地区及びその周辺の用途地域を把握するため、別途用途地域のわかる図面（都市計画総括図等）を添付してください。なお図面には、当該地区の区域を縁どりして明示してください。
- ・応募地区外の駅や主要な幹線道路等周辺地域の主要な公共公益施設等についても適宜、明示してください。
- ・方位及び縮尺（スケールバー等）を付してください。

9. 応募申請確認書（様式6）

- ・本様式は、応募者に地方公共団体が含まれない場合にのみ提出してください。
- ・応募にあたっての支障がないこと（関係法令に違反していないこと等）を確認してもらうものです。
- ・確認は、応募地区が所在する市区町村の景観担当部局長に依頼してください。
- ・様式1-1と同様に、応募者全員の名前を記載してください。

※なお、応募図書に記載された地名・固有名詞にはふりがなを付けてください。